

松本市の景気動向

— 中小企業景気動向基本調査 —

【平成29年6月】

■調査概要（データ対象期間：平成29年6月1日～6月30日）

- 調査期間：平成29年6月28日～7月21日
- 調査対象：市内中小企業200企業に対して郵送等によるアンケート調査
- 回収状況：建設業21企業、製造業21企業、卸売業15企業、小売業34企業
飲食業15企業、サービス44企業（運輸、不動産仲介業を含む）
<合計150企業>
- 調査項目：6月の売上・仕入・営業利益・受注量・受注単価・販売(客)数・販売(客)単価
状況向こう3ヶ月の業況見通し（DI値を集計）

(注)DI (Diffusion Index)値は、売上などの各項目についての判断の状況を示す。ゼロを基準として、プラスの値で景気の上向きを表す回答の割合が多いことを示し、マイナスの値で景気の下向き傾向を表す回答の割合が多いことを示す。従って、売上高などの実数値の上昇率を示すものではなく、強気・弱気などの景気感の相対的な広がりの意味する。

※DI=(増加・好転などの回答割合)－(減少・悪化などの回答割合)

松本市・松本商工会議所

概況

業況DI・水準DIともにマイナス幅が拡大

1. 業況判断

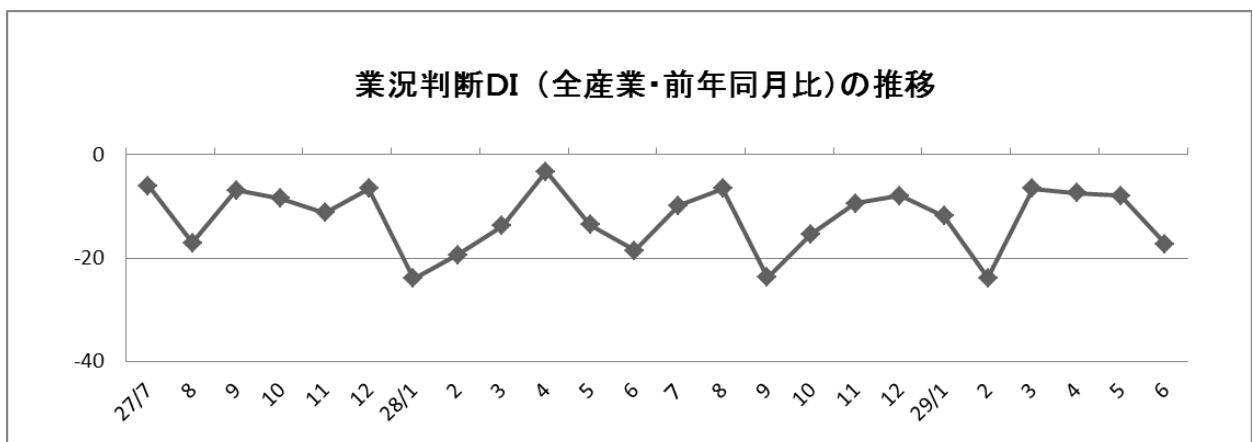
- 全産業合計の業況DI（前年同月比ベース）は、前月（▲8.0）よりマイナス幅が9.3ポイント拡大し、▲17.3となった。業種別では、建設業はマイナス幅が縮小した。サービス業、卸売業、製造業は0からマイナスとなった。小売業、飲食業はマイナス幅が拡大した。
- 全産業合計の水準DIは、前月（▲14.0）よりマイナス幅が9.3ポイント拡大し、▲23.3となった。業種別では、建設業はマイナス幅が縮小した。卸売業、製造業、サービス業、飲食業、小売業はマイナス幅が拡大した。

業況判断DI

	業況[前年同月比]				今月の水準			
	好転%	不変%	悪化%	DI	良い%	普通%	悪い%	DI
合計	10.7 (15.3)	61.3 (61.4)	28.0 (23.3)	↓ ▲17.3 (▲8.0)	10.0 (14.0)	56.7 (58.0)	33.3 (28.0)	↓ ▲23.3 (▲14.0)
建設業	4.8 (8.0)	71.4 (52.0)	23.8 (40.0)	↗ ▲19.0 (▲32.0)	4.8 (8.0)	66.6 (52.0)	28.6 (40.0)	↗ ▲23.8 (▲32.0)
製造業	19.0 (18.2)	47.7 (63.6)	33.3 (18.2)	↓ ▲14.3 (0.0)	19.0 (22.7)	52.4 (50.0)	28.6 (27.3)	↓ ▲9.6 (▲4.6)
卸売業	13.3 (16.7)	60.0 (66.6)	26.7 (16.7)	↓ ▲13.4 (0.0)	0.0 (0.0)	73.3 (75.0)	26.7 (25.0)	↓ ▲26.7 (▲25.0)
小売業	5.9 (14.7)	61.7 (61.8)	32.4 (23.5)	↓ ▲26.5 (▲8.8)	5.9 (14.7)	50.0 (58.8)	44.1 (26.5)	↓ ▲38.2 (▲11.8)
飲食業	6.7 (17.6)	60.0 (58.9)	33.3 (23.5)	↓ ▲26.6 (▲5.9)	6.7 (17.6)	53.3 (53.0)	40.0 (29.4)	↓ ▲33.3 (▲11.8)
サービス業	13.6 (17.5)	63.7 (65.0)	22.7 (17.5)	↓ ▲9.1 (0.0)	15.9 (15.0)	54.6 (62.5)	29.5 (22.5)	↓ ▲13.6 (▲7.5)

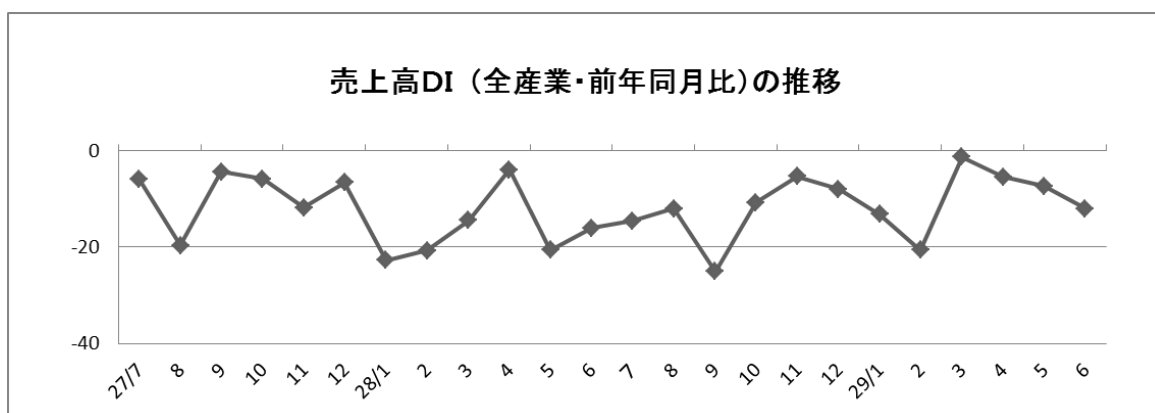
()内は前月データ

※「業況[前年同月比]」・・・前年同月の業況との比較による回答の集計
「今月の水準」・・・事業主の方の主観による回答の集計



2. 売上高DI（前年同月比）

○全産業合計の売上高DIは、前月（▲7.3）よりマイナス幅が4.7ポイント拡大し、▲12.0となった。業種別に見ると、製造業、サービス業はマイナスから0となった。建設業はマイナス幅が縮小した。卸売業はプラスからマイナスに転じた。小売業は0からマイナスに転じた。飲食業はマイナス幅が拡大した。

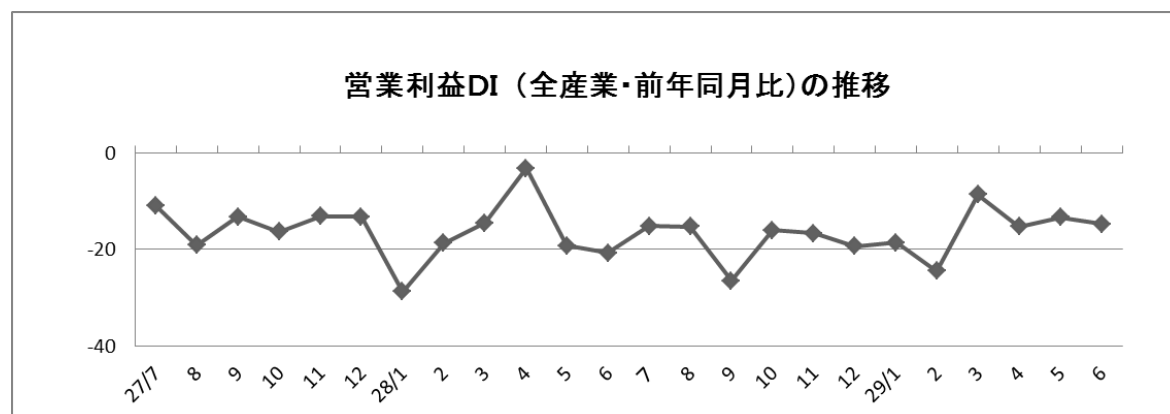


【対前年同月比売上高業種別DIの推移】

	28年6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	29年1月	2月	3月	4月	5月	6月
全 体	▲16.0	▲14.6	▲12.0	▲25.1	▲10.7	▲5.3	▲8.0	▲13.2	▲20.6	▲1.3	▲5.4	▲7.3	▲12.0
建設業	▲20.8	0.0	▲9.5	▲9.6	▲21.7	▲12.5	▲39.2	▲25.0	▲22.7	▲5.2	▲19.1	▲28.0	▲14.3
製造業	▲5.0	▲10.0	▲5.0	▲26.1	▲17.4	▲4.5	0.0	0.0	4.5	5.0	16.7	▲9.1	0.0
卸売業	7.1	▲30.8	▲28.6	▲15.4	▲23.1	6.2	▲18.8	▲43.7	▲15.4	▲16.6	▲28.6	16.6	▲33.4
小売業	▲24.2	▲17.7	▲18.2	▲29.4	▲8.6	▲13.4	16.1	9.0	▲41.2	▲2.8	0.0	0.0	▲17.6
飲食業	▲35.8	▲33.4	▲5.5	▲43.7	▲18.8	▲28.6	▲13.3	▲33.4	▲35.3	▲16.7	▲14.3	▲11.8	▲26.6
サービス業	▲13.3	▲10.9	▲9.1	▲25.0	5.0	6.8	▲6.7	▲13.3	▲11.6	8.9	▲4.6	▲5.0	0.0

3. 営業利益DI（前年同月比）

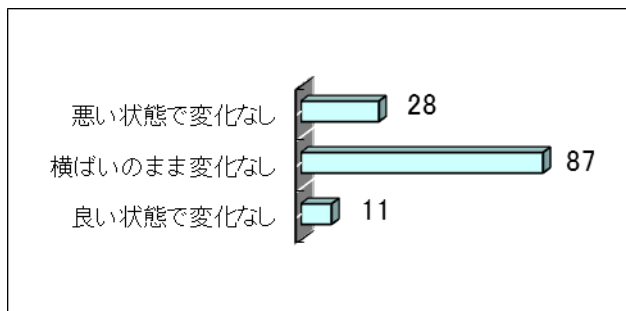
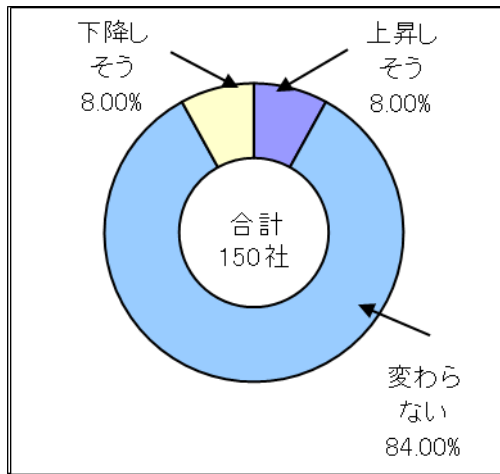
○全産業合計の営業利益DIは、前月（▲13.3）よりマイナス幅が1.4ポイント拡大し、▲14.7となった。業種別に見ると、サービス業、建設業、製造業はマイナス幅が縮小した。卸売業はプラスからマイナスに転じた。小売業、飲食業はマイナス幅が拡大した。



【対前年同月比営業利益業種別DIの推移】

	28年6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	29年1月	2月	3月	4月	5月	6月
全 体	▲20.7	▲15.2	▲15.3	▲26.5	▲16.0	▲16.7	▲19.3	▲18.6	▲24.5	▲8.6	▲15.3	▲13.3	▲14.7
建設業	▲25.0	▲8.7	▲19.0	▲23.8	▲21.7	▲29.2	▲43.5	▲20.0	▲27.3	▲21.0	▲33.3	▲32.0	▲28.6
製造業	▲10.0	▲20.0	▲5.0	▲30.5	▲30.5	▲22.7	▲10.0	0.0	▲9.1	▲10.0	▲4.1	▲9.1	▲4.7
卸売業	0.0	▲7.7	▲21.4	▲23.1	▲7.7	▲6.2	▲25.0	▲37.5	▲30.8	▲8.3	▲14.3	8.3	▲20.0
小売業	▲27.3	▲8.9	▲15.1	▲29.4	▲14.3	▲23.3	0.0	▲9.1	▲35.3	▲2.8	▲11.7	▲17.6	▲20.6
飲食業	▲42.9	▲46.6	▲16.7	▲50.0	▲37.5	▲42.9	▲33.4	▲46.6	▲41.2	▲22.2	▲21.4	▲11.8	▲26.6
サービス業	▲17.8	▲13.0	▲15.9	▲15.9	0.0	2.3	▲17.8	▲17.8	▲14.0	▲2.2	▲14.0	▲7.5	▲2.3

◇ 向こう3ヶ月の見通し ◇



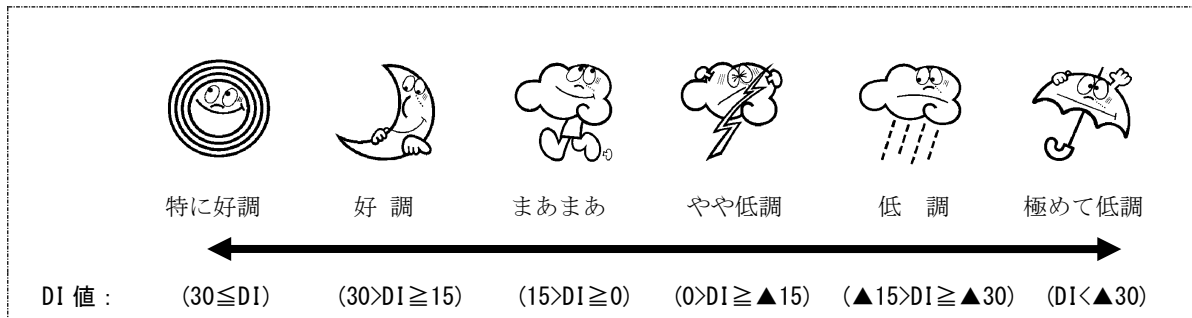
○平成29年7月～平成29年9月の見通しDIは、「上昇しそう」が前月の調査に比べ0.67ポイント増加し8.00%、「下降しそう」が2.00ポイント増加し8.00%となった。業種別の見通しDIは建設業(9.5)、製造業(▲4.7)、卸売業(▲6.7)、小売業(▲8.8)、飲食業(6.7)、サービス業(4.5)であった。

➡「上昇しそう」では、「既に受注予定があり、公共事業も予定しているため」「公共事業の受注が始まるため」「公共事業が発注され始めたため」(建設業)、「年間で一番忙しい時期になるため」(小売業)、「夏休みや秋の連休に期待できるため」(飲食業)、「引き合いがあり、今後の提案活動次第で上昇もありえるため」「気温の上昇と共に売り上げも上昇する傾向のため」(サービス業)といった声が寄せられた。

➡「下降しそう」では、「気温の変動が激しく皆体調を崩しやすいため」「5月、6月と2か月連続で受注量が減っているため」(製造業)、「納期の関係で売り上げ予定がズレ込んだため」(卸売業)、「競合大手が開業するため」「猛暑の見通しで人出が不安なため」「イオンモール松本の開店で客足が遠のくと思われるため」(小売業)といった声が寄せられた。

業種別景況

<DI | 君の景況判断>



1. 建設業



【項目別DIの推移】

	28年6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	29年1月	2月	3月	4月	5月	6月
売上高	▲ 20.8	0.0	▲ 9.5	▲ 9.6	▲ 21.7	▲ 12.5	▲ 39.2	▲ 25.0	▲ 22.7	▲ 5.2	▲ 19.1	▲ 28.0	▲ 14.3
受注量	▲ 25.0	▲ 8.7	▲ 38.1	▲ 4.7	▲ 13.1	▲ 20.8	▲ 39.1	▲ 30.0	▲ 18.2	▲ 5.2	▲ 38.1	▲ 40.0	▲ 33.4
受注単価	▲ 8.3	4.4	▲ 19.0	▲ 23.8	▲ 26.1	▲ 16.6	▲ 21.8	▲ 25.0	▲ 9.1	▲ 5.3	▲ 4.8	▲ 12.0	▲ 4.8
営業利益	▲ 25.0	▲ 8.7	▲ 19.0	▲ 23.8	▲ 21.7	▲ 29.2	▲ 43.5	▲ 20.0	▲ 27.3	▲ 21.0	▲ 33.3	▲ 32.0	▲ 28.6
見通し	12.5	4.3	▲ 4.8	9.5	▲ 8.7	▲ 4.1	▲ 4.4	0.0	4.6	10.5	0.0	16.0	9.5

<経営者の目・見方・e t c>

- 管工事
 - ・毎年6月頃から受注が増える。しかし、見通しが出来ない。民間に活力がなければ仕事量も増えない。
- 建築工事
 - ・公共事業の入札予定が多いが、一気に公開になっており喜ばしい。その反面資格者等の人材確保が厳しい。
- 建築設計
 - ・イオンモール松本の仕事が入り忙しい。
- 室内装飾
 - ・横ばいのまま変化なし。
- 鉄工
 - ・首都圏の再開発計画の案件があり、来年の半ばまで受注見込がある。
- 電気工事
 - ・公共、民間共に新規の仕事が少ないので遊びが多い。このままだと倒産となりかねない。何とか仕事量の確保に努めたい。
- 土木工事
 - ・公共事業の新年度予算執行が遅れており入札物件が少ない。
 - ・オリンピックの影響で不景気になっている。この先不安しかない。

2. 製造業



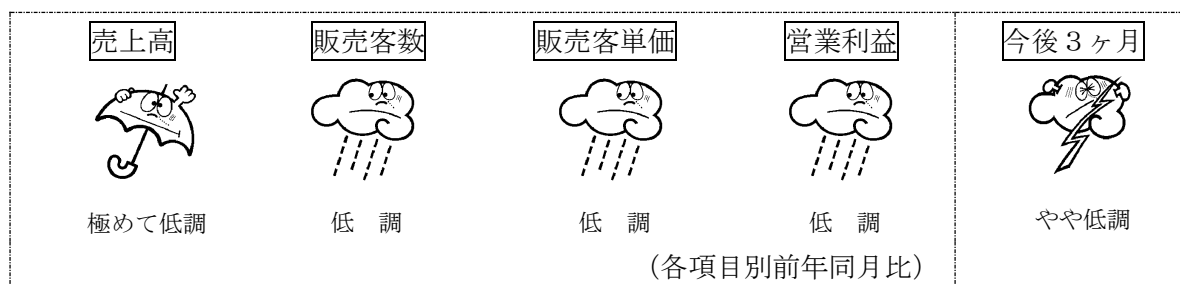
【項目別DIの推移】

	28年6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	29年1月	2月	3月	4月	5月	6月
売上高	▲ 5.0	▲ 10.0	▲ 5.0	▲ 26.1	▲ 17.4	▲ 4.5	0.0	0.0	4.5	5.0	16.7	▲ 9.1	0.0
受注量	0.0	▲ 25.0	▲ 15.0	▲ 39.1	▲ 26.1	▲ 13.7	▲ 10.0	▲ 9.1	▲ 4.5	▲ 15.0	4.2	▲ 18.2	0.0
受注単価	▲ 10.0	▲ 20.0	▲ 10.0	▲ 26.1	▲ 17.4	▲ 27.3	▲ 10.0	▲ 18.2	0.0	▲ 5.0	▲ 16.6	▲ 9.1	▲ 33.3
営業利益	▲ 10.0	▲ 20.0	▲ 5.0	▲ 30.5	▲ 30.5	▲ 22.7	▲ 10.0	0.0	▲ 9.1	▲ 10.0	▲ 4.1	▲ 9.1	▲ 4.7
見通し	▲ 5.0	10.0	▲ 10.0	▲ 8.7	4.4	0.0	▲ 5.0	0.0	9.1	▲ 20.0	▲ 4.2	▲ 4.5	▲ 4.7

<経営者の目・見方・etc>

印刷	・6～8月は書籍関係の動きが悪いため、横ばいか下降傾向。
菓子	・流通菓子業界で半生商品の動きが悪く、5月、6月と2か月連続で受注量が減っている。
金属塗装	・新聞、テレビ等では景気は上向きで特に製造業は良いという話だが、当社には廻ってきていない。受注、売上が低迷していて利益も出てこない。
小型情報機器組立	・実感のわからない景気は先を見通せない。
紙器	・少しずつ受注もあり、先月よりは上向いているようである。

3. 卸売業



【項目別DIの推移】

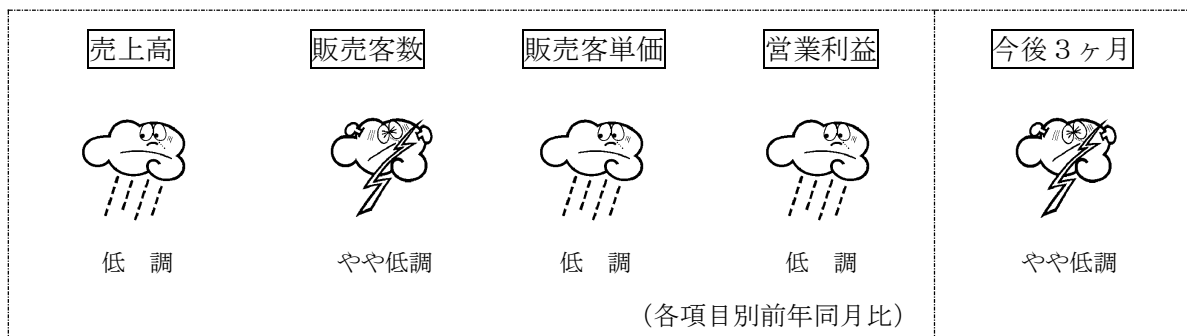
	28年6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	29年1月	2月	3月	4月	5月	6月
売上高	7.1	▲ 30.8	▲ 28.6	▲ 15.4	▲ 23.1	6.2	▲ 18.8	▲ 43.7	▲ 15.4	▲ 16.6	▲ 28.6	16.6	▲ 33.4
販売客数	▲ 7.2	▲ 30.8	▲ 14.3	▲ 15.4	▲ 23.1	▲ 6.2	▲ 25.0	▲ 6.2	▲ 7.7	▲ 16.7	▲ 7.2	0.0	▲ 20.0
販売客単価	0.0	▲ 7.7	▲ 21.4	▲ 7.7	0.0	6.3	▲ 18.8	▲ 18.7	▲ 15.4	▲ 8.3	▲ 14.3	0.0	▲ 26.6
営業利益	0.0	▲ 7.7	▲ 21.4	▲ 23.1	▲ 7.7	▲ 6.2	▲ 25.0	▲ 37.5	▲ 30.8	▲ 8.3	▲ 14.3	8.3	▲ 20.0
見通し	▲ 7.1	0.0	7.1	▲ 7.7	0.0	0.0	▲ 6.3	0.0	0.0	8.3	7.1	8.3	▲ 6.7

<経営者の目・見方・etc>

自転車	・電動自転車の売れ行きが好調である。
-----	--------------------

機械工具	<ul style="list-style-type: none"> ・仕入れメーカーからの品物の納期が年内に間に合わないものが出てきた。一部品物の納品に時間がかかり、支障が出ている。納品時に品物が間に合わないこともある。 ・新年度に入り各社役員の交代や社員の異動等あり、先行きは益々不透明である。
金属製品	<ul style="list-style-type: none"> ・前月同様大きな変化はない。首都圏ではオリンピック関係の大型案件が動き出している。地元はというと大型案件はないものの加工業者の稼働状況は良く、好調さをキープしている。
青果	<ul style="list-style-type: none"> ・梅雨にも関わらず、本年は干ばつ気味に推移したので、果菜類中心に順調な生産状況だったといえる。しかし総体としては野菜、果実共に入荷減ではあったが、単価も前年割れという状況であった。
土産品	<ul style="list-style-type: none"> ・全体的に悪いと感じた月だった。特に観光地は厳しく、インバウンド消費が一部の所に偏る傾向であるように感じられ、土産品の消費にまで至っていないと感じる。

4. 小売業



【項目別DIの推移】

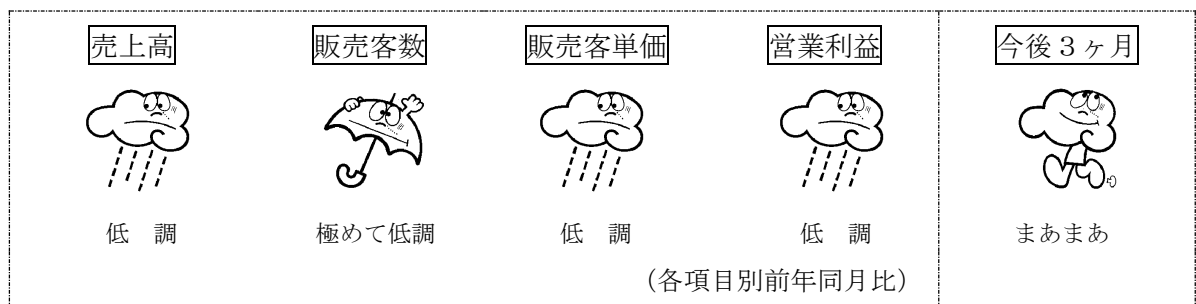
	28年6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	29年1月	2月	3月	4月	5月	6月
売上高	▲ 24.2	▲ 17.7	▲ 18.2	▲ 29.4	▲ 8.6	▲ 13.4	16.1	9.0	▲ 41.2	▲ 2.8	0.0	0.0	▲ 17.6
販売客数	▲ 24.2	▲ 11.8	▲ 6.1	▲ 29.4	▲ 5.7	▲ 23.3	0.0	3.1	▲ 41.2	▲ 8.3	▲ 3.0	▲ 8.8	▲ 14.7
販売客単価	▲ 18.1	▲ 17.7	▲ 12.1	▲ 23.6	▲ 22.9	▲ 20.0	6.4	▲ 12.1	▲ 32.3	0.0	▲ 11.7	▲ 5.9	▲ 20.6
営業利益	▲ 27.3	▲ 8.9	▲ 15.1	▲ 29.4	▲ 14.3	▲ 23.3	0.0	▲ 9.1	▲ 35.3	▲ 2.8	▲ 11.7	▲ 17.6	▲ 20.6
見通し	0.0	▲ 2.9	▲ 6.1	▲ 5.9	0.0	0.0	0.0	▲ 3.0	2.9	▲ 8.3	2.9	0.0	▲ 8.8

<経営者の目・見方・e t c>

印章	<ul style="list-style-type: none"> ・「消費者は必要な物や欲しい物をスマホで調べて、スマホで買えない物を購入する時だけ路面店を訪れる」という趣旨の話を多方面から聞いた。この流れに対応出来るか出来ないかは、商店や商店街の生き残りに直接かかわってくるかもしれない。 ・下請け職人が高齢のため廃業し、これから厳しい。
薬局	<ul style="list-style-type: none"> ・とにかく町に日影がないとの意見をお客様からもよくいただく。
おやき	<ul style="list-style-type: none"> ・例年売り上げが良くない時期なので、お中元、お盆、夏休みに向けて新製品の開発等に力を入れた。飲食店をはじめ売り上げが落ちているという話が多い。

パン	・昨年より天候に恵まれたためか、しっかり売上を伸ばすことが出来た。この調子で暑い夏を乗り切りたい。
生鮮食品	・父の日はいつも売上が多い日であるが、今年は大変良かった。あまり雨が降らず後半は暑い日が続き、夏バテ防止のため訪れる客も多くありがたい。天候に左右されている。
観光物産	・外国人、日本人共に来客数が減少している。海の日以降に期待したい。
ギフト商品	・『ネットでの購入価格調べ、品選び、購入』が一般的になり、競争ライバル会社はネット内の日本全国の同業者と変わって来ている。安さ「日本一」の表示を掲げる業者の一人勝ちが必然になっている。競合しない商品、付加価値を付けた商品、当店ならではの商品を前面に出すよう努力したい。
化粧品	・松本の知名度が上がり、今後の観光客の増加に繋がっていくことを期待したい。
住宅機器	・低調であった。7月は6月より動きそうである。
書籍・木のおもちゃ	・来店数の落ち込みが厳しくなかなか好転していかない。異業種との交流なども考え、これからの展開を計りたい。
ショッピングセンター	・平年に比べ涼しい日が多く、夏物の衣料品の動きが低調であったが、飲食、雑貨に関しては順調な推移であった。
総合小売	・6月からのプレセール、夏物値引き販売が拡大して利益がだせなくなり、商品が作れなくなってきている。どこかで歯止めがかからなくてはと感じている。
陶磁器	・空梅雨気味であり暑くもなく、暮らすのは快適だったが、季節商品の動きが鈍かった。客数は例年並みだったが、客単価が伸びなかった。街中でイベントを企画するなら、観光客が集中する夏休み中や連休ではなく、こういった閑散期にこそお願いしたい。

5. 飲食業



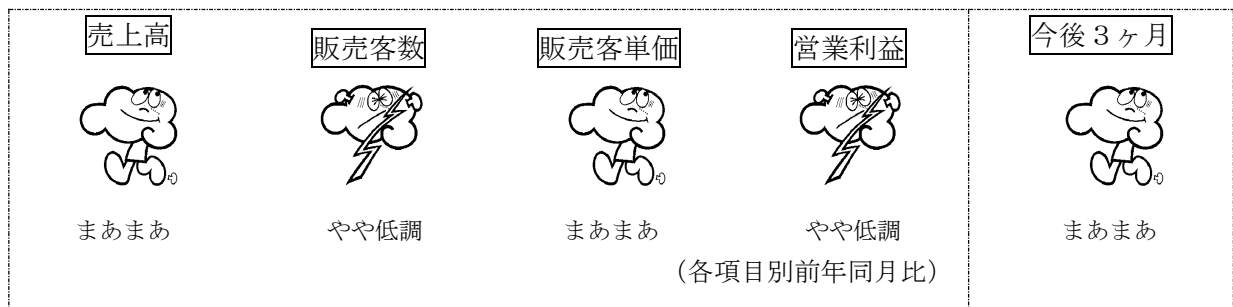
【項目別DIの推移】

	28年6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	29年1月	2月	3月	4月	5月	6月
売上高	▲ 35.8	▲ 33.4	▲ 5.5	▲ 43.7	▲ 18.8	▲ 28.6	▲ 13.3	▲ 33.4	▲ 35.3	▲ 16.7	▲ 14.3	▲ 11.8	▲ 26.6
販売客数	▲ 42.9	▲ 33.4	▲ 5.6	▲ 31.2	▲ 12.5	▲ 28.6	▲ 20.0	▲ 33.4	▲ 35.3	▲ 11.1	▲ 14.3	▲ 5.9	▲ 33.3
販売客単価	▲ 28.6	▲ 26.7	▲ 11.1	▲ 25.0	▲ 25.0	▲ 35.8	▲ 13.3	▲ 6.6	▲ 35.3	5.6	▲ 14.3	▲ 11.7	▲ 26.7
営業利益	▲ 42.9	▲ 46.6	▲ 16.7	▲ 50.0	▲ 37.5	▲ 42.9	▲ 33.4	▲ 46.6	▲ 41.2	▲ 22.2	▲ 21.4	▲ 11.8	▲ 26.6
見通し	7.2	6.6	▲ 16.7	▲ 12.5	▲ 12.5	0.0	▲ 26.7	0.0	▲ 11.7	16.7	14.3	0.0	6.7

<経営者の目・見方・etc>

郷土料理	・平日の暇は相変わらず厳しい。上高地等に訪れる常連客が動き始めた。夏休みが待たれる。
仕出し料理	・後半から猛暑が続いているので、食中毒への細心の注意をはらって調理している。
料理	・昼間の時間が長く、ボーナスの月であったが客足はまばらであった。
寿司	・昨年よりはるかに厳しい。仕入れが高くなっており、売上とお客様は減少している。 ・イオンモール松本のオープンが近づき、色々な動きがあるが、実際は蓋を開けてみないとわからないことも多い。マイナス要因ばかりに目が行きがちであるが、他方ではチャンスを見逃さないように注視したい。 ・梅雨時期ではあるが雨降りの少ない月であった。これから本格的な夏に向かって食中毒には油断はできない。父の日や夏のボーナス支給は暇な6月としては非常にありがたい。今一つ盛り上がりず物足りない月であった。
そば	・天候はそれほど悪くなかったが、中旬から人出も少なく、これから夏場に期待したい。
レストラン	・毎年お客様の動きが少ない月。今年は雨が多くなかったため、条件は良かったが、来客増加にはならなかった。

6. サービス業



【項目別DIの推移】

	28年6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	29年1月	2月	3月	4月	5月	6月
売上高	▲13.3	▲10.9	▲9.1	▲25.0	5.0	6.8	▲6.7	▲13.3	▲11.6	8.9	▲4.6	▲5.0	0.0
販売客数	▲15.5	▲8.7	▲4.5	▲22.7	0.0	4.6	▲11.1	▲17.7	▲14.0	4.4	0.0	▲7.5	▲2.3
販売客単価	▲4.4	▲4.4	4.5	0.0	▲2.5	6.8	▲2.2	▲4.4	▲7.0	0.0	2.3	0.0	9.1
営業利益	▲17.8	▲13.0	▲15.9	▲15.9	0.0	2.3	▲17.8	▲17.8	▲14.0	▲2.2	▲14.0	▲7.5	▲2.3
見通し	2.2	0.0	4.6	9.1	10.0	4.5	2.2	8.9	0.0	6.6	7.0	▲5.0	4.5

<経営者の目・見方・etc>

自動車整備	・5月から7月は自動車業界では一番仕事量が少なくなる時期である。客足を引き寄せる策を講じなければ先が苦しくなる。何か良い策はないものか。夏休みまでにはプラス材料を探したいものである。
写真	・学校行事他、パスポート、マイナンバー、免許用等各種証明写真が堅調だった。
獣医	・獣医学部新設の問題で国会等がセンセーショナルになっている。獣医学部新設に係る疑惑の解明を徹底して行うことを求めたい。

温泉旅館	<ul style="list-style-type: none"> ・梅雨入り宣言が早すぎて、晴天が続いていたのに客足が止まってしまった。実は梅雨入りはもっと後でしたと言われても後の祭りである。一方相変わらず、外国のお客様は順調に入込があり、比較的好いお天気の中楽しんでいる。 ・好天に恵まれ、信州観光増大。パソコンからの予約率は約90%、時代の波である。 ・当館は現在13代から14代に事業を継承しているが、若い経営者と年配の経営者の考え方の違いもあり、なかなか一本化が難しいことは確かである。経験を積んで、皆に良かったと思われる経営が出来るよう、意見統一を目指し改善していきたいと考えている。
宿泊	<ul style="list-style-type: none"> ・例年6月はお客様の動きが悪い時期ではあるが、半ば以降特に顕著であった。原因がわからず梅雨明け後、夏以降に期待したい。
ホテル	<ul style="list-style-type: none"> ・宿泊はインバウンドの動きもあり好調だが、昨年大河ドラマの勢いに比べて人数的には少し届かなかった。宴会は昨年に比べて好調であった。
ソフトウェア	<ul style="list-style-type: none"> ・県内顧客の中にもシステム投資の機運が高まっていると感じる。社内業務のシステム化や再構築に初期開発費用は当然必要だが、最小限のシステム基盤整備を検討し、継続的に機能向上と改善を図る方法が求められている。
タクシー	<ul style="list-style-type: none"> ・例年通り約半数の車が上高地方面での営業となったが、客の入込はまだ少ない。
ペットサービス	<ul style="list-style-type: none"> ・来店数、売上高共に前年を上回った。これから夏の繁忙期に入るなので、社員の体調管理をしっかりしていきたい。
ホームクリーニング・リネサプライ業	<ul style="list-style-type: none"> ・観光客の増加が際立った。また、松本、安曇野、乗鞍他どの地区も好調であった。
理容	<ul style="list-style-type: none"> ・梅雨の時期でも雨が降らず後半は暑い日が続き、業界の活性化に繋がり、例年の6月よりも良い傾向だった。
リラクゼーション	<ul style="list-style-type: none"> ・人の動きが少なく感じた。
機械設計	<ul style="list-style-type: none"> ・製造業は設備投資がまだ続きそう。今年後半も良い状態だと考える。
警備保障	<ul style="list-style-type: none"> ・人材不足が深刻になりつつある。